

ふれあい 夢 通信

3号

FUREAI YUME TSUUSHIN
子どもを真ん中に、山口県の教育を考える

山口県教育庁教育企画室
編集ホットライン TEL0839・33・4531

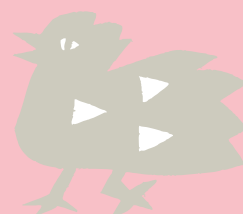


特集 高校の特色づくりと通学区域の改善

自分のよさや可能性を 伸ばせる高校を選びませんか

夢や希望を持って高校へ入学し、その実現に向けて生き生きと充実した高校生活を送ることは大切なことです。

そのためには、それぞれ異なる特色を持った学校がたくさんあって、自分の興味・関心や進路希望などに応じて行きたい学校を選ぶことができればいいなと思いませんか。



生徒一人一人が輝くために...!

これからの学校教育 これからは、学校の伝統や校風、地域性などを生かした創意あふれる教育活動を展開する中で、生徒が自分たちの学校に魅力を感じ、自信と誇りをもって高校生活を送ることができるような学校づくりが求められています。

そのためには、まず、生徒一人一人が自分のよさや可能性を大きく伸ばせるよう、豊富なメニューの中から、生徒自身が自分に合った学校や学科などを選択できる幅広い教育システムを構築する必要があります。

2 特色ある学校づくりと通学区域の改善

このため、県教育委員会では、生徒の多様な学習ニーズに応えることができるよう、特色ある学校づくりをより一層推進するとともに、県立高校普通科の通学区域を改善して、生徒が自己の特性に応じて、行きたい学校を主体的に選択できるような条件整備に取り組んでいます。

具体的には、現在の普通科の26の通学区域を教育事務所管区を広さの目安とする7通学区域に変更するとともに、将来的には、総合学科高校、単位制高校、中高一貫校などの新しいタイプの学校や、国際化・情報化等の社会の変化に対応した学科・コースを、生徒が通学できる範囲にバランスよく配置するような取組みを積極的に進めていきます。

なお、これらの取組みを実りあるものとするため、これまで以上に地域と連携し、地域の声を反映した学校づくりをさらに推進していきたいと考えていますので、どうぞ、皆様方の御意見や御感想をお寄せください。

高校改革推進室 TEL0839-33-4554

楽しい自分の時間割づくり

宇部西高校2年(総合学科)
古屋温子

「自分の好きな科目を選んで勉強できる」ことの魅力にひかれて、この高校を選びました。

1年次の「産業社会と人間」という科目では、様々な職場、企業、学校等の訪問がとても楽しく、福祉施設での体験学習や、いろいろな方々から聞いた話はとても印象に残りました。この授業のおかげで今まで知らなかったたくさんのことがわかり、将来のことをよく考えるようになりました。

自分の夢を見つけ、その進路を決定するために必要な科目を選択し、自分で時間割が組めることは、とてもよいことだと思います。これからも、自分の将来の夢の実現に向けてしっかり頑張りたいと思っています。



ここから店頭には運ばれません(宇部中央卸市場にて)

介護実習センターでの実習を体験して

佐波高校2年(普通科福祉コース)
田原七恵

介護実習センターで、今回、いろいろな体験をしました。実際にやってみると、簡単そうに思えたことが、以外に難しいことを知りました。

例えば、ベッドでの平行移動は、初めてで少し緊張しましたが、実際に体験することで、とてもよい勉強になりました。また、車椅子やアイマスクを使っている体験では、なかなか自分の思いどおりにはならず、お年寄りや障害のある方たちの気持が、よく理解できました。

これからも、介護を受ける方の気持や心を大切にしてお応えすることを忘れず、より多くのことを学びたいと思います。



気分はいかがですか(介護実習普及センターにて)

あなたはどんな学校を選びますか？

普通科

幅広い教養を身につけるため、国語、数学、英語などの普通教科を中心に深く学習します。
商業科目の学習もできる学校もあります。

総合学科

普通科、専門学科の両方の内容を幅広く学習できる学科です。
数多い選択科目の中から、自分の興味や関心、適性や進路などに基づいて、必要な科目を自分で選択し、学習することができるので、進学、就職のいずれにも対応できます。

専門学科

将来のスペシャリストをめざして、主に専門教科を深く学習します。
最近、大学等への進学者も増加しています。
現在、都市工学科、情報ビジネス科や福祉科など、合わせて43種類もの専門学科があります。

定時制高校

働きながら学習したい人や、ゆとりを持って学習したい人のための学校です。
卒業するまでは通常4年間かかりますが、3年間での卒業も可能としている学校もあります。

普通科コース

普通教科を学びながら、興味・関心のある特定の分野を深く学習し、自分の個性を伸ばすことができます。
現在、体育コース、英語コース、科学英語コース、文化英語コース、国際コース及び福祉コースが設置されています。

中高一貫校

ゆとりのある教育の中で、生徒の個性や創造性を伸ばすことをめざして、中学校教育と高等学校教育とを一貫して行う学校です。
現在、県内2地域で、研究が進められています。

全日制単位制高校

学年ごとの進級認定がなく、卒業までに決められた単位を修得すれば卒業が認定される高等学校です。
多くの選択科目の中から、自分の興味・関心や進路希望に応じて、学習したい科目を選択できます。

通信制高校

仕事やその他の事情で、毎日学校に通えない人のための学校です。
日常は、家庭で学習しながら、毎月2回、日曜日に授業を受けることになります。
3年間での卒業も可能です。

夢と希望の実現に チャレンジ

自分自身で学校・学科を 選択決定

学校案内、体験入学、説明会などで学校を知ろう

高校で学びたいこと 将来就きたい職業

あなたの夢・希望は？

～ 行きたい学校を自分で選ぼう～

あなたの通学区域が変わります

平成14年4月に高等学校に入学する生徒から、全日制課程普通科の通学区域が変わります。

現行の26通学区域を、教育事務所管区ごとの7通学区域とします。

県内のどの地域においても、複数の普通科高校から志願校を選択できるようになりました!!

7通学区域区分

- 岩国学区
- 柳井学区
- 徳山学区
- 防府学区
- 厚狭学区
- 下関学区
- 萩学区



4

新しい通学区域を決定するに当たりましては、広く県民の皆様のお意見を伺いするため、県内7会場における「意見を聴く会」や約4千名を対象としたアンケート調査等を実施してまいりました。

お陰様をもちまして、多くの方々の御賛同を得るとともに貴重な御意見をいただき、厚くお礼を申し上げます。



それぞれの学区内にある 印の高校を志願できます。
学区外の高校も志願できます。
ただし、学区外入学の制限を受けず。
(各高校は、募集人員の5%以内まで学区外の生徒を受け入れられます。)
なお、従来志願できていた学区外の高校へは、これまでどおり学区外入学の制限なしで志願できます。
*新たに、油谷町全域を豊北高校の通学区域とします。
*自由通学区域も残します。

「小鳥の巣に卵を見つけたよ」

周東町立川上小学校

大自然に囲まれた川上小学校の5・6年生20名が、学校の近くの妙見神社の森の木々に巣箱をかけました。地域のお年寄りから巣箱の作り方



巣箱をおろして、きれいに掃除

を教わり、一生懸命作った巣箱を、先生と一緒に木の高いところにかけるのはなかなか大変です。

去年かけた巣箱を掃除していた子どもたちは、巣の中にある小さくてかわいい卵を見つけて、自然の中での生命のいぶきに感動し、目を輝かせていました。

5年前から毎年続けている小鳥の巣箱かけを通して、自然とふれあい、豊か



慣れない手つきで箱を木に結びつける感性や自分たちのふるさとを愛する心を大切に育ててほしいものです。

「一緒に遊び 一緒に笑って 温かい心のコミュニケーション」

山口県立田布施養護学校、田布施町立田布施中学校

田布施養護学校と田布施中学校の子どもたちが、平成10年度最後の交流学习を行い、楽しいふれあいの一時を過ごしました。

「明日は、交流学习の日です。」と



ねらいを定めて(もくろたたき)

伝えると、養護学校の子供たちは、にこっと笑います。

心身に障害のある子どもたちと障害のない子どもたちが、ともに活動する交流教育。今回は、思い出に残るようにとグループに分かれて工夫を凝らし、もくろたたきゲームやカラオケ大会、手づくりのぬいぐるみや指人形のプレゼント交換など、子どもたちの心と心が響き合う楽しい交流になりました。



いくつ鐘がなるかな(カラオケ)

交流学习を経験した子供たちには、年3回の交流学习で、言葉を用いなくても通じ合える豊かな表現力が育ってきているようです。

「小さな個性とのふれあい」

山口県立厚狭高等学校



お姉さん達と「はいちもんめ」(山陽町立下津保育所)

家政科2年生40名が、近くの2つの保育所に分かれて保育実習を行いました。生徒たちは、慣れない手つきで乳幼児のおむつを替えたり、一緒に歌を歌ったりして、日頃の授業で

は学ぶことのできない体験に母のやさしさがめばえたようです。

保育所の子どもたちとふれあう中で子供と一緒に過ごす楽しさや保母の大変さなどを感じて、生徒たちはそれぞれの将来に思いをはせていました。



おもちゃで遊ぼう(山陽町立乳児保育所)

ふれあい交差点

ニュース募集のお知らせ

ふれあいニュースは、皆さんと一緒に作るページです。あなたの街の国際交流や青少年プロジェクトなど、「ふれあい」をテーマにしたイベントなどをお知らせ下さい。

連絡先
教育企画室
「ふれあい夢通信」編集室

山口県の学校では、こんな環境教育

小学校では

小野田市立高千帆小学校

心の中に花を咲かせる

- 22年目の花いっぱい活動 -

小野田市立高千帆小学校では花いっぱい活動を始めて、今年で22年目を迎えました。この活動は、自然と人



さあ、土をいれるよ

とのふれあいの中で、命の大切さや思いやりの心を育てることを目的とし、5・6年生の園芸委員を中心に全校児童と教職員で取り組んでいます。

毎年、学校の中庭を中心とした学年花壇と、一人一鉢の花を育てていますが、1年生はサルビア、2年生はマリーゴールド、3年生はペゴニア、4年生は七色トウガラシ、5年生はインパチエンス、6年生は段菊と各学年で違った花を植えています。また、学校の周囲にも

花を植えて、園芸委員がお世話をしています。児童全員が土づくり、種まき、水やり、草取りなどをして熱心に花を育て、夏休みには5・6年



ほら、こんなに咲いたよ

生の児童が交代で水やりなどのお世話をしています。

そして、11月には花いっぱいの美しい高千帆小学校を祝い、保護者や地域の方々を招いてフラワーフェスティバルを催します。このフェスティバルでは、日頃の活動の成果や草花を育てた感想を報告したり、合唱や劇を発表



フラワーフェスティバルの始まりだ!

したりします。また、花いっぱい活動が地域にも広がるように、学校で育てた苗の配布もしています。

中学校では

山口市立平川中学校

地球規模の環境を考える

- The GLOBE Program -

山口市立平川中学校の科学部では、平成2年の開校以来、毎年、研究テーマを設定して「ダニの研究」や「タバコの害」等につ



久しぶりの雨だ〜「環境について考え

る研究」があります。

平成9・10年度に力を入れて取り組んできたのは、アメリカのゴア副大統領によって提唱された「グローブ・プログラム」の活動です。この活動は、一人ひとりの環境に対

する意識を高め、地球に関する科学的理解を深めるとともに、科学的・数学的な学習レベルの向上を図ることを目的としているものです。



今日の雨はどうかなあ?

この活動では、国内のグローブ仲間や科学者との交流を深めながら、酸性雨や大気中のNO_x(窒素酸化物)濃度な



全国の仲間とインターネットでお話しよう

どを調査し、インターネットを通じてアメリカへもデータを送るなど、日本だけではなく世界を意識して環境に関する調査研究を行っています。

平川中学校のホームページのアドレスは

<http://www.hirakawa-jhs.yamaguchi.yamaguchi.jp/>

の取り組みをしています

高校では

県立南陽工業高等学校 身の回りの環境を振り返る

- 「課題研究」の個人研究を通して -

近年、地球の温暖化やオゾン層の破壊、酸性雨等の地球規模の環境問題が大きくクローズアップされ、都市・生活型公害の問題も依然として大きな課題となっています。



誰だよ、この釣り糸捨てたの!

このような状況の中で、南陽工業高等学校では、環境保全のための様々な実践に取り組んでいます。

化学工業科では、3年の課題研究の授業で、環境に関するテーマに取り組む生徒が年々増えてきています。これまでの研究では、学校の池の水を分析して池を浄化させる循環システムを考えた生徒たちもいました。

昨年度の課題研究では、環境問題に取り組んだグループが7グループ中3グループあり、その中の1グループは、身近な環境をとりあげて、新南陽市の酸性雨の状況や学校のそばの海岸のゴミの放置状況など、学校外の調査を中心に研究を進めてきました。



何かいいものある?

それぞれの調査結果については、他の地域と比較して、新南陽市の特徴やその原因等を考察し、自分たちの感想も加えて取りまとめました。

今年度から学校では化学工業科の中に新たな科目「環境化学」を導入するなどして、環境系の選択学習ができるよう条件整備を行い、環境教育に取り組む気運をより一層高めるとともに、環境に配慮して望ましい行動のとれる生徒の育成に力を入れていきたいとのことでした。



いっぱい頑張っても成果があがらない時もあるよね。人生費より賢だよ、パンちゃん

ひと言

地域ぐるみで環境保全活動を



豊北町立豊北第一中学校
教頭
山近洋祐

「子どもの頃のふるさととは・・・」と尋ねられたら、どのような答えが返ってくるでしょうか。文化の発達と共に「ふるさと」は変容を遂げますが、人の成長には「ふるさと」の環境が強い影響を与えることは間違いありません。子ども達は、恵まれた自然環境から様々なことを学び成長していきます。ゴミ問題、資源のリサイクル、動植物の生態系、地球温暖化等、問題が山積している

昨今、地域をあげてこの問題に取り組む、自然と人間のすばらしい共存関係を築きたいものです。感性の豊かな子どもと、地域の大人の教育力が相まってこそ、この問題も解決に向けて前進するものと思われま

す。住民の誇れる「ふるさと」の環境を是非後世に残していきたいものです。

1999

④ ⑥

子どもたちと一緒に参加、見学できるイベント案内

イベントカレンダー

4/29(木)
春の十種ヶ峰を丸かじり - 山菜教室 -

県十種ヶ峰青少年野外活動センター
☎08395-8-0033

5/22(土)植物分野

6/12(土)地学分野

6/20(日)動物分野

7/10(土)天文分野

自然と遊ぼう(4回連続講座)

県立博物館 ☎0839-22-0294

5/16(日)

十種ヶ峰わらび狩りハイク

県十種ヶ峰青少年野外活動センター
☎08395-8-0033

5/21(金)~5/23(日)

月面を見る会

県立博物館 ☎0839-22-0294

5/22(土)~5/23(日)

にこにこげんきランド

~夏みかんがりと自然体験ゲーム~

対象...幼児(年少~年長)とその家族
県萩青年の家 ☎0838-22-4730

5/30(日)

文化財講座(山口市鑄銭司の史跡を訪ねる)

県立博物館 ☎0839-22-0294

6/6(日)

十種ヶ峰ターゲット・バード・ゴルフ教室

県十種ヶ峰青少年野外活動センター
☎08395-8-0033

6/13(日)

天文講演会(地球に接近・衝突する天体)

県立博物館 ☎0839-22-0294

6/20(日)

地質めぐり(豊北町で地層の堆積構造の観察)

県立博物館 ☎0839-22-0294

6/25(日)~7/8(木)

教科書展示会(主に小学校教科書)

中央教科書センター他、県下各会場
☎0839-33-4607(県指導課)

編集室より

「ふれあい夢通信」の内容を充実させるために、皆様からのご意見や感想をお待ちしています。

山口県教育庁教育企画室

住所 〒753-8501 山口市滝町1 1

電話 0839-33-4531

ファックス 0839-33-4539

電子メールアドレス fureaiyu@ce.mbn.or.jp



5/3(月)5/5(水)
親子ギャラリーツアー

~中国陶磁の至宝
英国デイヴィッド・コレクション展~

学芸員から作品の説明等を聞きながら、親子で楽しく鑑賞してみませんか。

県立萩美術館・浦上記念館
☎0838-24-2400

5/8(土)~5/9(日)
絵本のお山とほのぼの家族

たまには新緑のお山に寝ころがって絵本を読んだり、草だんごを作ったりと、親子で楽しい一時をお過ごしになりませんか。

県十種ヶ峰青少年野外活動センター
☎08395-8-0033



5/20(木)5/21(金)
天体観測入門

~天体望遠鏡の使い方、惑星・春の星座の観察~

自分で天体望遠鏡を操作して、美しい惑星や春の星たちを見てみませんか。

山口県教育研修所
(教科研修部県民開放講座係)
☎0839-87-1190

5/22(土)~5/23(日)
洞くつ探検! 神秘の世界

- 景清洞となぞの洞くつ -

夜の洞くつ・謎の洞くつ、ワクワク・ドキドキしながら、自然の神秘と芸術を五感を通して味わってみませんか。仲間づくりについての親子フォーラムも開催します。

県秋吉台青少年宿泊訓練所
☎0837-62-0106



6/19(土)~6/20(日)
ヨットにチャレンジ!

親子のヨット体験教室

家族一緒に海体験。気持ち良い風を受けて光の海をヨットで走ってみませんか? 広い海と輝く太陽が待っています。

県スポーツ交流村
☎0833-71-1144

